

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表： 令和6年 4月 1日

事業所名： 児童発達支援事業所 りんくす 保護者等数(児童数) 17 回収数 16 割合 94 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	○				戸建てで広く 過ごしやすい	広いスペースがある
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	○				適正である	来期からは作業療 法士も増える予定
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○			生活空間は分かりやす くなっているが一軒 家なのでバリアフ リーについては分 からない	必要に応じて手す り 等も
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○				過ごしやすい活動 に適してる	
適切な支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	○				作成している	更新も随一行って いる
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか				○	細かく設定されてい ると思う	ガイドラインに従 い支援の内容は設 定している
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○				行われている	
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	○				色々な経験をさせて もらっている	今後とも精度の高 い支援を行って いく
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○		まだこのような交流 機会がない	今後機会を作りたい
保護者への 説明書	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	○				契約の時にしても らっている	毎回丁寧に 説明している
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	○				毎回説明はある	説明している
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか			○		よく分からない	保護者への支援も 今後検討していく
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	○				連絡帳やライン等 で細かく連携して いる	出来るだけ細かく お伝えしている
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	○				毎回ラインや送迎時 にコミュニケーション をとっている	出来るだけ細かく お伝えしている
15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか			○		分からない	今後検討していく	

	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	○				いつも迅速な対応を してもらっている	可能な限り迅速な 対応を心掛けてお り、ご要望に お答え出来るよう にしている
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	○				連絡帳やライン等 で細かく連携してい る	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	○				HPで見たことある	毎年必ず集計と公 表を行っている
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	○				注意されてい ると思う	十分に注意している
非常時等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	○				訓練を行っているの は知っている	お手紙等でもお知らせ している、BCPも策定し 緊急時でも運営出来る ようにしている
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	○				行っている	マニュアル作成後 避難訓練を定期的 に行っている
満足 度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	○				楽しく通っている	
	23	事業所の支援に満足しているか	○				普段できない体験をさせ てもらい満足している	今後とも精度の 高い支援を行っていく

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。